

知っていますか？ ご家庭の水道のしくみ

蛇口をひねれば当たり前のように出てくる水道水。皆さんは、家庭で使っている水が「どこから来ている水」なのかご存じでしょうか？今回は、皆さんが普段使っている水道水がどこの水なのか？どのように蛇口まで送られてくるのかを特集します。

我が家の水道水は、どこから来ている水？

上ノ国町内には、5つの浄水場があり、「水道水」の原料は「表流水」つまり川を流れている水となります。

下表のとおり、浄水場ごとに給水区域が分かれており、川から汲み上げられた水は、浄水場に送られ、「ろ過」という方法で川水に含まれている汚れなどを取り除き、「塩素」という薬品で消毒され、「水道水」ができあがります。できあがった水は「配水池」と言われるタンクに貯められ、「水道管」を通じて皆さんのご家庭へと送られています。

浄水場名	河川名	給水区域
湯ノ岱浄水場	下ノ沢川	神明地区、湯ノ岱地区
桂岡浄水場	苦符川	宮越地区から大崎地区まで
木ノ子浄水場	小安在川	寅ノ沢地区から汐吹地区まで
石崎浄水場	イゲ沢川	石崎地区の一部
小砂子浄水場	相泊川	小砂子地区

「水道管」には種類があります。

ご家庭に水道水を送る配管をまとめて「水道管」といいます。道路の下などには、水道管が網の目のように埋設されていますが、これらの水道管は、その役割によって左図のように異なる名称が用いられています。

水道管の太さ(口径)は送る水の量によって決まります。水道管は、

配水池に近いほど太く、各家庭に近くなるほど細くなっています。

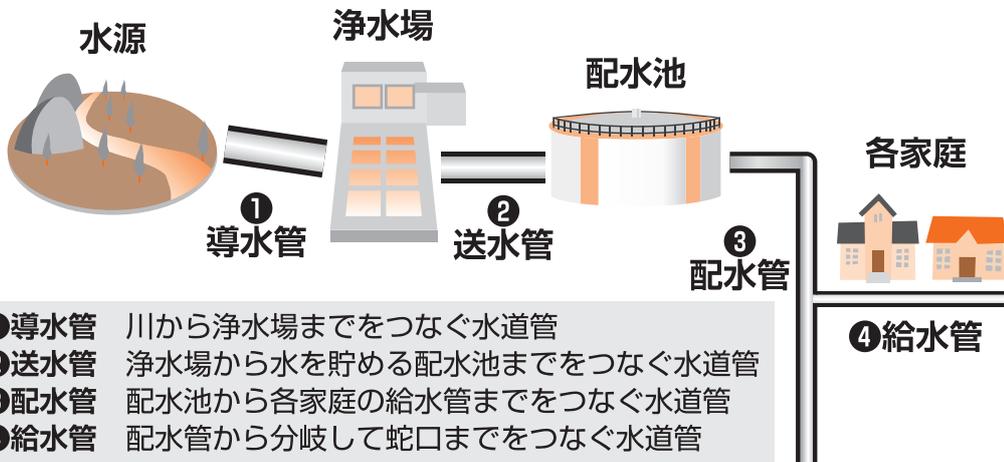
これらの導水管・送水管・配水管の長さを合計すると上ノ国町全体で74キロとなります。

町内には、このように水道管が縦横に張り巡らされているので、蛇口をひねると、いつでも、どこでも、きれいな水が出ています。

水道管の災害対策

水道課では、古くなった水道管を随時更新し、災害時においても生活に影響を及ぼすことがないように水道管の耐震化を進めています。

また、町内では、水道管の老朽化とともに年々、水漏れ、いわゆる「漏水」が増加しており、その対策工事についても漏水箇所を発見の都度、進めています。



- ①導水管 川から浄水場までをつなぐ水道管
- ②送水管 浄水場から水を貯める配水池までをつなぐ水道管
- ③配水管 配水池から各家庭の給水管までをつなぐ水道管
- ④給水管 配水管から分岐して蛇口までをつなぐ水道管